

令和6年度 第3回 中部地方整備局事業評価監視委員会 再評価（一括審議）案件一覧

資料5

番号	事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性	事業の投資効率性 上段:前回評価時 下段:現時点	都道府県・政令市 等の意見
1	国道474号 三遠南信自動車道 飯橋道路	自 長野県飯田 市山本 至 長野県下伊 那郡喬木村氏乗	H4年度事業化 H7年度用地着手 H10工事着手	1674 1726	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大き な変化が見られない	用地進捗率 100% 事業進捗率 約87% (令和6年 3月末時点) 飯田山本IC～天龍峡IC L=7.2km 平成20年度開通(2/4) 天龍峡IC～龍江IC L=4.0km 令和元年度開通(2/2) 龍江IC～飯田上久堅・喬木富田IC L=3.4km 平成29年度開通(2/2)	・令和6年度は以下内容を実施 【飯田上久堅・喬木富田IC～喬木IC】 ・調査推進: 環境調査、水文調査、 調査設計(協議用資料作成等) ・工事推進: 富田地区ほか改良工 4号橋ほか上部工 2号橋ほか下部工 1号トンネルほかトンネル工	・トンネル発生土の重金属 対策においては吸着層工法 を採用しており、吸着材に ついては費用対効果が最も 得られる材料に見直しを行 い、コスト削減を図る。 ・技術の進展に伴う新技術 の採用等による新たなコス ト削減に努めながら事業を 推進する。	【事業全体】 総便益B:10,586億円 総費用C:8,302億円 B/C=1.3 【事業全体】 総便益B:10,840億円 総費用C:8,716億円 B/C=1.2 【残事業】 総便益B:3,767億円 総費用C:1,319億円 B/C=2.9 【残事業】 総便益B:3,830億円 総費用C:1,275億円 B/C=3.0	継続
	国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路	自 長野県飯田 市南信濃八重河 内 至 静岡県浜松 市天竜区水窪町 奥領家	S58年度事業化 H23年度用地着手 H23工事着手	772 772	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大き な変化が見られない	用地進捗率 100% 事業進捗率 約73% (令和6年 3月末時点)	・令和6年度は以下内容を実施 【小嵐IC(仮称)～水窪北IC(仮称)】 ・調査推進: 環境調査、水文調査、 調査設計(協議用資料作成等) ・工事推進: 八重河内地区改良工 池島地区改良工 青崩峠トンネル工	・技術の進展に伴う新技術 の採用等による新たなコス ト削減に努めながら事業を 推進する。	(事業区間を飯橋道路として算出した場合) 【事業全体】 B/C=1.3 【残事業】 B/C=2.5 【事業全体】 B/C=1.1 【残事業】 B/C=2.3 (事業区間を青崩峠道路として算出した場合) 【事業全体】 B/C=1.5 【残事業】 B/C=6.5 【事業全体】 B/C=1.5 【残事業】 B/C=9.0	継続
	国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路	自 静岡県浜松 市天竜区水窪町 奥領家 至 静岡県浜松 市天竜区佐久間 町川合	H31年度事業化 R4年度用地着手 工事未着手	900 900	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大き な変化が見られない	用地進捗率 約49% 事業進捗率 約3% (令和6年 3月末時点)	・令和6年度は以下内容を実施 【水窪IC(仮称)～佐久間川合IC】 ・調査推進: 地質調査、環境調査、水文調査、 6号トンネルほかトンネル詳細設計、 調査設計(協議用資料作成等) ・用地買収推進: 佐久間地区ほか用地買収	・技術の進展に伴う新技術 の採用等による新たなコス ト削減に努めながら事業を 推進する。	(事業区間を水窪佐久間道路として算出した場合) 【事業全体】 B/C=1.6 【残事業】 B/C=1.6 【事業全体】 B/C=1.6 【残事業】 B/C=1.7 (事業区間を佐久間道路・三遠道路として算出した場合) 【事業全体】 B/C=1.1 【残事業】 B/C=6.5 【事業全体】 B/C=1.1 【残事業】 B/C=6.1	継続
	国道474号 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路	自 静岡県浜松 市天竜区佐久間 町川合 至 静岡県浜松 市浜名区引佐町 東黒田	H5年度事業化 H13年度用地着手 H15工事着手	1940 2025	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大き な変化が見られない	用地進捗率 100% 事業進捗率 約97% (令和6年 3月末時点) 鳳来峡IC～浜松いなさ北IC L=13.9km 平成24年度開通(2/2) 佐久間河合IC～東栄IC L=6.9km 平成30年度開通(2/2)	・令和6年度は以下内容を実施 【東栄IC～鳳来峡IC】 ・調査推進: 環境調査、水文調査、 調査設計(協議用資料作成等) ・工事推進: 新城地区ほか改良工 8号橋ほか上部工 3号トンネルほかトンネル設備工	・橋梁上部工事では、視覚 的にイメージしやすい BIM/CIMモデルを活用し、 仮組立時に取合いが確認 できない付属物に対しての 整合照査や、既設構造物と の設置手順のシミュレーシ ョン等を実施することで、施工 性を向上させ、作業時間の 短縮を図る。 ・技術の進展に伴う新技術 の採用等による新たなコス ト削減に努めながら事業を 推進する。	継続	